



第2回 加西こども議会

未来をつくるこどもたち

令和7年8月24日（日）、市議会議場で『第2回加西こども議会』を開催しました。こども議員2期生に応募された市内の小学6年生12名が参加し、議会を模擬体験して議会や行政の仕組みを学び、地方自治への関心を育みました。

市のまちづくりや地域の課題など、こども議員ならではの視点やアイデアが盛り込まれた質問に、市議会議員が丁寧に答弁しました。こども議会の議長役は、蓬萊徳乃さん（下里小）、定行夏千花さん（泉小）、橋爪志歩さん（九会小）、岩本夏奈さん（富合小）の4名が務め、しっかりと議事を進めました。

当日行われた質問と答弁の概要を紹介します。



加西市の公債の今後の推移について

1番 橋爪 志歩 議員（九会小）

質問 加西市の歳入予算に占める公債の割合はどのくらいですか。統合中学校や総合運動公園の建設計画により、公債はどのように推移していきますか。

答弁 令和7年度予算の歳入は288億円、公債（市債）は21億6,920万円の7.5%です。泉統合小学校や統合中学校の整備などに費用がかかるため、6年度より約13億円、4.1%増加しています。総合運動公園建設などで今後も増加の見込みですが、収支計画をしっかり立てて事業を行っていきます。



税金の使われ方について

2番 平木 心那 議員（賀茂小）

質問 加西市の市税収入はどれくらいですか。そのうち一番大きく占めている税金は何ですか。また、納められた税金はどのように使われていますか。

答弁 令和5年度の市税収入は70億7,690万円で、一番大きく占めるのは土地や建物などの所有者にかかる固定資産税36億4,529万円で、市税収入の半分以上を超えます。税金は道路や水道、病院、ごみ処理、給食費、困っている人たちの支援など市民が安全安心で快適に生活できるように使われています。



加西市のユニバーサルデザインの取り組みについて

3番 岡本 一華 議員（宇仁小）

質問 年齢や性別、国籍、障がいに関係なく、安全快適な環境を整えることがユニバーサルデザインですが、市内には視覚障がい者向けの信号が少ないと思います。加西市はどのように取り組んでいますか。

答弁 視覚障がい者に優しい信号機の設置は兵庫県公安委員会が認可されるため、設置の要望が続いています。その他、公共施設のスロープや車椅子トイレの設置、市役所窓口の外国語の案内表記、手話や筆談での対応など優しい社会づくりに努めています。



耕作されなくなった農地について 加西統合中学校について

4番 吉田 羽奈 議員（九会小）

質問 農家の高齢化が進んで耕作されない農地が増えています。どのようにしようと考えていますか。また、加西統合中学校の通学バスの乗降場所と先生の異動はどのようにになりますか。

答弁 同じ集落の農家が集まり、協力して農業を進める集落営農により、耕作されない農地を生まないよう取り組んでいます。統合中学校のバス通学は自宅から4km以上の生徒を対象に、安全な乗降場所を検討中です。先生は転勤などで調整していきます。